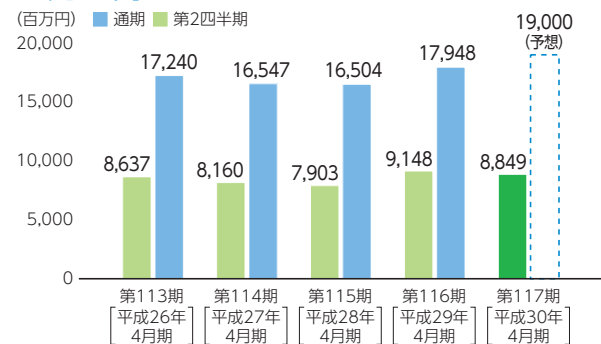
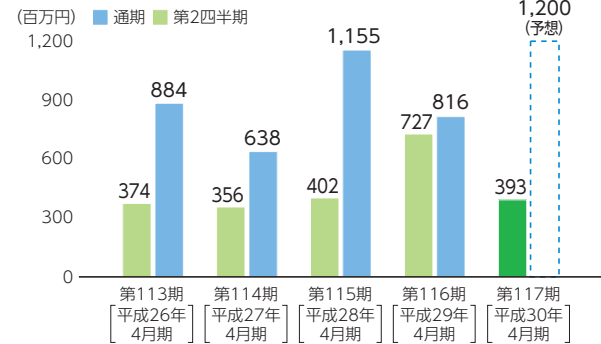


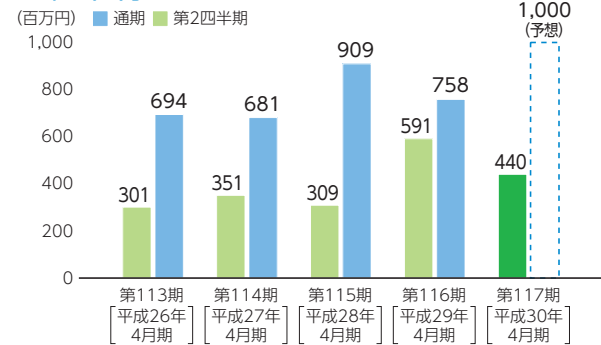
○売上高



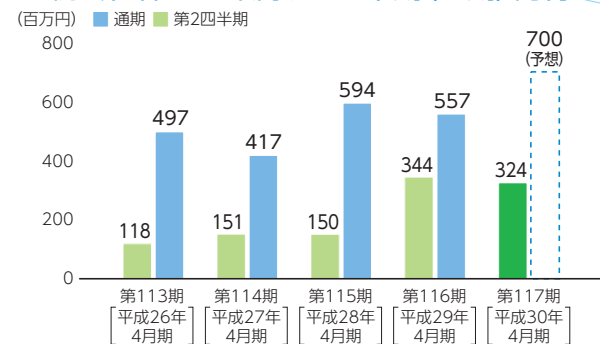
○営業利益



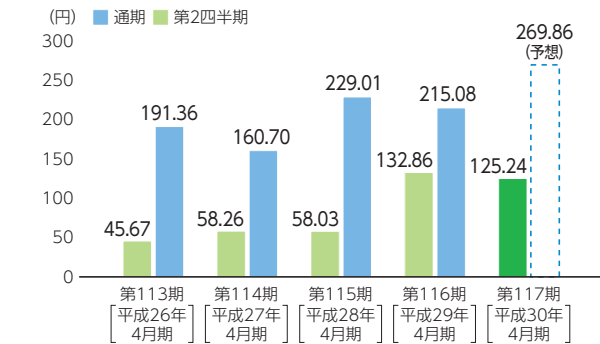
○経常利益



○親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

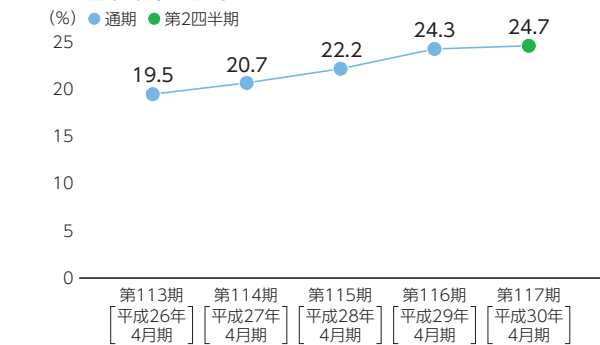


○1株当たり四半期(当期)純利益



※平成28年11月1日付で10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。過去3年分は、当該株式併合を実施した場合の参考数値です。

○自己資本比率



会社概要

(平成29年10月31日現在)

設立 明治43年8月
 資本金 1,378百万円
 従業員数 260名(連結861名)
 東京本社 東京都港区新橋二丁目20番15-701号
 福山本社 広島県福山市一文字町14番14号
 工場 函館・福山
 事業所等 札幌・網走・石巻・東京・高岡・福山・九州・紋別・釧路・八戸・いわき

取締役及び監査役

(平成29年10月31日現在)

代表取締役社長	小山 林 宏 明
代表取締役専務	山本 吉 夫
専務取締役	高杉 森 良
常務取締役	小杉 林 和
取締役	西北 郷 重
取締役	野村 方 清
取締役	岡村 耕 浩
取締役	小立 柴 芳
常務監査役	佐藤 小 一
監査役	藤原 村 隆
監査役	佐藤 村 卓
監査役	佐藤 村 己

主要グループ会社

(平成29年10月31日現在)

【国内】
 多久製網株式会社 日本ターニング株式会社
 株式会社泰東 CNK株式会社
 日東ネット株式会社 有限会社吉田漁業部
 有限会社温泉津定置
【海外】
 レデス・ニッター・チリ・リミターダ(チリ)
 タイ・ニットウセイモウ・グローバル Co.,Ltd.(タイ)

株式の状況

(平成29年10月31日現在)

発行可能株式総数 6,400,000株
 発行済株式の総数 2,605,000株
 株主数 3,138名

株主メモ

事業年度 毎年5月1日から翌年4月30日まで
 定時株主総会 毎年7月下旬
 基準日 定時株主総会・期末配当：毎年4月30日
 中間配当：毎年10月31日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日。
 株主名簿管理人及び特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 【郵便物送付先】 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
 【電話照会先】 0120-782-031(フリーダイヤル)
 公告方法 電子公告
 <公告掲載URL>
<http://www.nittoseimo.co.jp/>
 但し、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 上場証券取引所 東京、名古屋

第117期 中間報告書

平成29年5月1日から平成29年10月31日まで



高品質な製品の提供を通じ、安全・安心な生活環境づくりに貢献していきます。



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ここに、当社第117期第2四半期連結累計期間(平成29年5月1日から平成29年10月31日まで)の概況等につきましてご報告申し上げます。

今後とも皆様の変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成30年1月

代表取締役社長 **小林宏明**

Q1 当第2四半期の市場環境と業績はいかがでしたか？

当社グループ主力ユーザーの漁業関連業界におきましては、異常気象による海況の異変や一部水産資源の漁獲量の規制、秋のさけ・さんまの不漁など厳しい状況にありますが、世界的な魚食の高まりにより、水産物の輸出額

は、多少ばらつきはあるものの、年々増加傾向にあるなど、経営環境は概ね安定しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、海外旋網の受注は順調でしたが、定置網の売上高が減少したことにより、前年同期と比べて減少しました。営業利益は、生産の平準化を図り、無駄な費用の削減に努めておりますが、付加価値の高い定置網の売上高が減少したことにより、前年同期と比べて減少しました。営業外損益では、前年同期は為替差損が発生しましたが、当第2四半期ではドル高により、為替差益が発生しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,849百万円(前年同期比3.3%減)、営業利益は393百万円(同45.8%減)、経常利益は440百万円(同25.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は324百万円(同5.7%減)となりました。

Q2 通期の課題と対応、業績予想をお聞かせください。

漁業関連事業は、世界的な魚食の盛り上がりにより、水産物の需要が年々増加しております。それに伴う漁業、漁具資材の需要の高まりが見られます。また、オリジナル商材の販売を積極的に行い、提案型営業の取り組み強化を図り、売上高、収益の確保・拡大を図ってまいります。

陸上関連事業につきましては、陸上用ネット等の施工工事部門は、前期に引き続き堅調に推移するものと予想しております。主力商品である防虫網、スポーツネット、獣害防止ネットを中心にその他の産業資材を含め、積極的に拡販してまいります。

通期業績については、当第2四半期時点では当初予想をやや下回り推移しておりますが、現時点では売上高は19,000百万円、営業利益は1,200百万円、経常利益は1,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は700百万円と予想を変更しておりません。配当につきましては、第117期の期末配当金として1株当たり45円を予定しております。

当社グループは、今後も業界のリーダーとして新たな時代の先頭に立ち、さまざまな角度から提案してまいります。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

漁業関連事業

7,546百万円 (85.28%)

売上高は7,546百万円(前年同期比3.0%減)となりました。主な要因は、海外旋網部門の受注が好調であることや連結子会社の増加などがありました。定置網部門の売上高が減少したことによるものです。利益面は、付加価値の高い定置網の売上高が減少したことにより、セグメント利益は362百万円(同47.3%減)となりました。

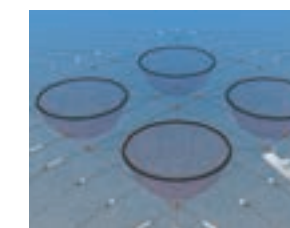
事業紹介



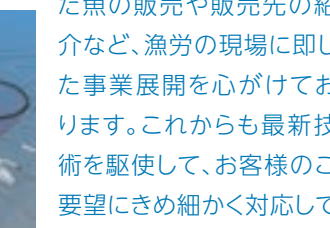
定置網



海苔網



養殖網



漁業

陸上関連事業

1,298百万円 (14.67%)

売上高は1,298百万円(前年同期比4.7%減)となりました。主な要因は、陸上用ネット等の施工工事の受注が一部下期にずれること及び産業用資材の受注が前年同期と比べて減少したことによるものです。利益面は、売上高が減少したことにより、セグメント利益は31百万円(同19.1%減)となりました。

事業紹介



防虫網



防球ネット

ご家庭の網戸や各種スポーツネット、建設現場から農業用途に至るまで、さまざまなシーンでご利用いただける製品を提供しております。中でも、防虫網は独自に開発した高耐候・高強度のポリオレフィン原糸を使用しております。焼却しても有毒ガスを排出せず、環境に優しい素材です。このほか、防球ネットや獣害防止ネット、土木・建築用ネット、防災ネットなど、活躍の場がますます広がっております。網のトップメーカーとして培った知識と経験をもとに、設計から施工、修理に至るまで一貫して対応してまいります。



遊具ネット

